

## 人間力を磨くために必要な「遊び」の機会を子どもたちに返そう。

学級崩壊、いじめ問題、登校拒否…。以前は考えられなかった問題に子どもたちは取り囲まれている。財団法人 さわやか福祉財団では、その最大の理由が人間力を育むために必要な「遊び」の不足にあると考えている。もう一度「遊び」を取り戻すために、「子どもが育つ放課後の居場所づくりフォーラム」を開催した。

今のままの教育では日本の明日は支えきれない。

「2015年問題」をご存じだろうか。2015年になると、日本では団塊の世代が全て65歳以上になり、少子化が進んでいることから完全な逆ピラミッド型の人口構造となる。看護、介護や福祉そのほかさまざまな分野で問題の発生が予想され、現状の社会システムでは支えきれなくなる。

財団法人 さわやか福祉財団の有馬正史さんは「この問題に対応した制度なども整える必要がありますが、行政だけではとても解決できません。社会全体で高齢者を支えていかなければなりませんので、働く人や学生たちがボランティア活動に興味を持ち、参加しやすい環境づくりを進めています」と語る。

人間が生まれつき持っている「やさしさ」を育み、若い頃からボランティア活動にかかわっていくことで今後の社会問題解決の一助にするということである。

有馬さんたちは「知識教育」偏重のままでは、生き抜けない時代になると考えている。

「私たちは『人間力』と呼んでいます。知識や技能だけを詰め込むのではなく、自助と共助の力のある人間を育てたいと考えています。それには『遊び』が欠かせません」

現在、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」として各地の自治体でさまざまな取り組みがなされている。放課後の学校を解放し、安全を確保しながら子どもたちを育成しようというものだ。

ところがこの活動には自治体毎に温度差があり、横のつながりもないため隣の町で何を行っているかもわからないという事も多い。そこで情報交換の場として同財団では、「子どもが育つ放課後の居場所づくりフォーラム」を開催した。

子どもたちは「遊び」の中で自然に進化する。

「子どもが育つ放課後の居場所づくりフォーラム」は2009年度は青森県・神奈川県・福岡県の3県で開催された。フォーラムのメインは全国各地から集まったケーススタディである。

一例として、宮崎県五ヶ瀬町の取り組みを紹介する。過疎化が進むこの町では、「風の子自然学校」を実施しており、全児童60人のうち56人が毎日参加する。一人の児童が段ボール箱をもらってきたことをきっかけに、子どもたちはどんどん遊びを工夫するようになっていった。新聞紙を丸めて野球をしたり、段ボールを使ってお化け屋敷を造ってみたい。

ごく自然に高学年生が作業を指揮し、後片付けも率先して行うようになり、他の子もそれに習うようになった。学年の違う子と遊ぶということが、人間関係の基礎を教えてくれるのである。

自然学校の指導をしているのは地域のボランティアである。

「指導するといっても、見守りだけなのです。ケンカをしてもあえて仲裁はしない。子どもたちが自分たちで気づき、工夫し、達成することに意義があることをこの事例は教えてくれています」と有馬さんは語る。

もうひとつ大切なことは地域の大人が参加しているということだ。親でも先生でもない、利害関係のない大人と接すること、子どもたちは多様な価値観があることに気づくのである。また地域愛にもつながっていくという。

このフォーラムを通じて、子どもたちが親の過剰な干渉によって、自己実現の道を狭めさせられている現状も

あらためて明確になった。「気づき」の機会がどんどん奪われるために、人間力の乏しい子どもたちが生まれ、学級崩壊などが起きることも明らかになった。

このフォーラムに参加した保護者や教育関係者たちからはものすごい反響があった。

「できればこの活動を全国に広めて行きたい」と有馬さんは語る。2015年には間に合わないだろうが、その後も視野に入れたとき、この活動の意義は非常に大きい。



神奈川県で開催されたフォーラムの様子。各地域で行っている活動を紹介



千葉大学 教授 明石要一さんをコーディネーターにパネルディスカッションを行う

### 担当者より



公平な立場でのご助成をありがとうございました。

財団法人 さわやか福祉財団  
有馬正史さん

AJOSCのご支援を受けて、フォーラムを開催することができました。教育にかかわることですので、企業色などのない公平な立場でのご支援は本当にありがたいと思っております。このフォーラムによって、自分たちの考えが間違っていなかったことも確信できました。今後もご支援いただけるなら幸いに存じます。



青森県で開かれたフォーラムでも多数の教育関係者が参加した

大館市子ども教室（秋田県）  
授業が終わり「さようなら！！」のごあいさつと同時に放課後の「なまよクラブ」に駆け込んで来る子ども達、エネルギーにあふれ、パワーは今日も全開です！！外遊びと体育館利用をふんだんに取り入れ、また安全管理員の定例会は何でも喋りあう貴重な場としてフル回転、みんなが元気で！

フォーラムに参加を呼びかけるチラシ